

長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について

1 目的

長野市歴史的風致維持向上計画（以下「計画」という。）に PDCA サイクルを導入し、計画に位置付けられた方針の達成及び課題の改善の着実な進展を図るもの。

また、歴史まちづくりの地域への効果を把握し、市民への説明責任を果たすとともに、成果をあげた取り組みにおける工夫等の情報を市町村間において共有すること。

2 進行管理・評価の概要

計画に位置付けた取り組みについて毎年度「進捗評価」を、計画に記載された方針の達成状況等について計画期間の中間に「中間評価」を、最終年度に「最終評価」を実施する。

評価結果は、長野市歴史的風致維持向上協議会（法定協議会）の確認を受け、国に報告し、ホームページ等により市民に公表する。

(1) 進捗評価・・・毎年度実施

施策・事業の進捗状況（アウトプット）の評価【自己評価】

「① 組織体制」「② 重点区域における良好な景観を形成する施策」「③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項」「④ 文化財の保存又は活用に関する事項」「⑤ 効果・影響等に関する報道」「⑥ その他」の評価軸ごとに、施策・事業の進捗状況を評価し、翌年度の取り組みに反映する。

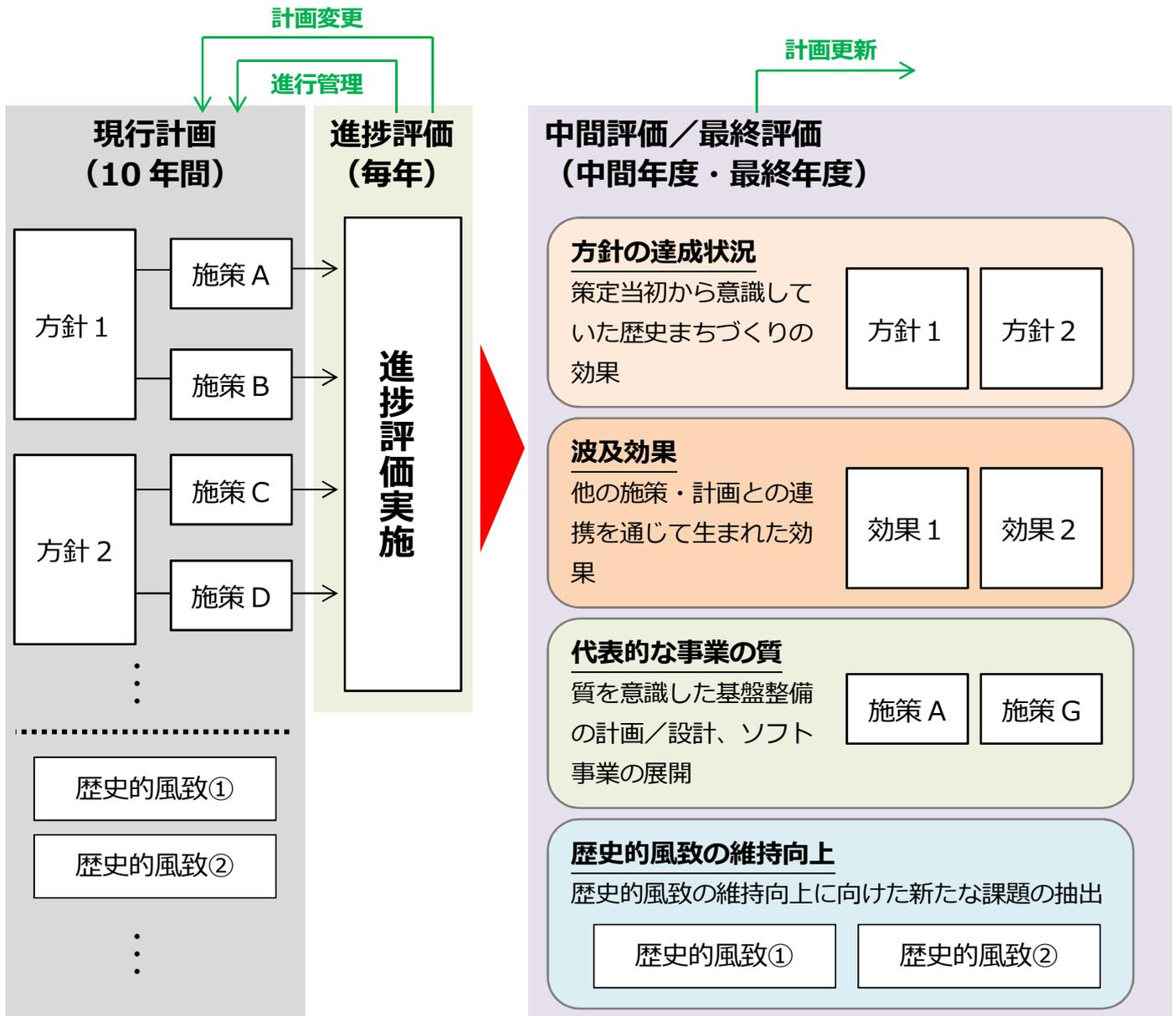
(2) 中間評価・最終評価・・・計画期間の中間及び最終年度に実施

⇒本市の場合、中間評価はR元年度、最終評価はR4年度

期間中間・最終の評価【自己評価・外部評価】

「① 計画に基づく方針」「② 波及効果」「③ 代表的な事業の質」「④ 歴史的風致」について評価を実施する。外部有識者による評価を受け、今後の歴史まちづくりを進める上での課題や、今後の対応について整理する。

3 評価の流れ（イメージ）



4 スケジュール

年	月	進 捗 評 価	中間評価・最終評価
R元	9月まで		外部評価者決定・外部評価事業決定
	11月まで		外部評価実施、住民評価実施
	11月下旬	国から評価書式が送付される	
	12月	評 価 シ ー ト 案 完 成	
R2	2月	歴史的風致維持向上協議会での意見聴取	
	4月下旬	国に評価シートを送付	
	7月	評価シートをホームページ上で公表	

■ 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施年度・対象一覧

		○:進捗評価 ●:中間評価 ◎:最終評価									
市町村名	認定日	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
1	金沢市	○	○	○	○	●	○	○	○	○	◎
2	高山市	○	○	○	○	●	○	○	○	○	◎
3	彦根市	○	○	○	○	●	○	○	○	○	◎
4	萩市	◎									
5	亀山市	○	○	◎							
6	犬山市	◎									
7	下諏訪町	○	◎								
8	佐川町	◎									
9	山鹿市	○	○	◎							
10	桜川市	○	○	◎							
11	津山市	◎									
12	京都市	○	○	◎							
13	水戸市	◎									
14	長浜市	○	◎								
15	弘前市	◎									
16	甘楽町	○	◎								
17	高梁市	○	◎								
18	太宰府市	○	●	○	○	◎					
19	三好市	◎									
20	白河市	○	○	◎							
21	松江市	○	◎								
22	恵那市	○	◎								
23	高岡市	○	○	◎							
24	小田原市	○	○	◎							
25	松本市	○	○	◎							
26	川越市	○	○	◎							
27	多賀城市	○	○	◎							
28	宇治市	●	○	○	◎						
29	大洲市	●	○	○	◎						
30	美濃市	○	○	◎							
31	佐賀市	●	○	○	◎						
32	尾道市	●	○	○	◎						
33	竹原市	○	●	○	○	◎					
34	明和町	○	○	◎							
35	東御市	○	○	○	◎						
36	岐阜市	○	●	○	○	◎					
37	長野市	○	●	○	○	◎					
38	津和野町	○	●	○	○	◎					
39	堺市	○	●	○	○	◎					
40	鶴岡市	○	●	○	○	◎					
41	日南市	○	●	○	○	◎					
42	郡上市	○	○	●	○	○	◎				
43	名古屋市	○	○	●	○	○	◎				
44	斑鳩町	○	○	●	○	○	◎				
45	竹田市	●	○	○	○	○	◎				
46	添田町	●	○	○	○	○	◎				
47	向日市	○	●	○	○	○	○	◎			
48	国見町	○	●	○	○	○	○	◎			
49	奈良市	○	●	○	○	○	○	◎			
50	鎌倉市	○	○	●	○	○	○	○	◎		
51	磐梯町	○	○	●	○	○	○	○	◎		
52	桑折町	○	○	●	○	○	○	○	◎		
53	湯浅町	○	○	●	○	○	○	○	◎		
54	伊賀市	○	○	●	○	○	○	○	◎		
55	千曲市	○	○	●	○	○	○	○	◎		
56	岡崎市	○	○	●	○	○	○	○	◎		
57	村上市	○	○	●	○	○	○	○	◎		
58	広川町	○	○	●	○	○	○	○	◎		
59	三島市	○	○	●	○	○	○	○	◎		
60	大館市	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	
61	甲州市	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	
62	湯前町	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	
63	桐生市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
64	掛川市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
65	宗像市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
66	和歌山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
最終評価		7	6	12	5	8	5	3	10	3	7

【実施年度・対象の考え方】

- ①4年以内(H32年度まで)に計画を終了する場合は、最終評価のみを実施
 - ②計画終了まで5年以上を要する(H33年度以降に計画が終了する)場合は、中間評価と最終評価を実施
- ※総括評価を未実施の認定都市は計画期間の中間年度に中間評価を実施

歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価制度に基づく 「最終（中間）評価シート」作成ガイド（国土交通省通知の抜粋）

最終（中間）評価では、『表紙』と『様式1～8』からなる、**全8種類のシート**を作成することとなっています。本ガイドは、最終（中間）評価シートを作成する上での基本的な考え方を説明するとともに、記入例を用いながら各項目の具体的な記入方法を示したものです。

1. 全体的な注意点

「最終評価」は計画期間全体、「中間評価」は計画期間前半を対象に、認定計画に基づく施策展開のプロセスとその成果を振り返りながら、計画の達成状況を評価するとともに、今後の課題を抽出し、各課題の解決に向けた対応を検討するためのものです。

【各シートの狙い】

- ・**統括シート**：最終（中間）評価の主な評価対象を整理するためのシートです。
- ・**方針別シート**：認定計画に記載された各方針について、課題解決の達成状況を自己評価し、方針の設定や方針別の施策内容を検討するためのシートです。
- ・**波及効果別シート**：認定計画に基づく取り組みの波及効果について、効果発現の状況を自己評価し、他の計画・制度との連携方策を検討するためのシートです。
- ・**代表的な事業の質シート**：認定計画に位置づけられた代表的な事業について、事業の質を自己評価・外部評価し、事業の進め方を検討するためのシートです。
- ・**歴史的風致別シート**：各歴史的風致について維持向上の状況を自己評価し、歴史的風致毎に施策の内容や方向性を検討するためのシートです。
- ・**庁内体制シート**：認定計画の実施・推進に係る庁内の組織・体制について、内部評価を通じた検討を行うためのシートです。
- ・**住民評価・協議会意見シート**：認定計画に基づく取り組みの成果について、地域住民・協議会等からの外部評価を整理するためのシートです。
- ・**全体の課題・対応シート**：自己評価・外部評価を通じて明らかになった課題と今後の対応を整理するためのシートです。

【記載内容】

- ・各様式の「～の経緯と成果」欄では、施策展開のプロセスとその成果を説明してください。単年度毎の各取り組みの進捗を記載するのではなく、評価対象期間を総括する観点から、中長期的な取り組みの経緯と成果を説明するように心がけてください。
- ・各様式の「自己評価」欄では、「～の経緯と成果」欄・「取り組み概要」欄で整理した施策展開のプロセスとその成果について、課題も含めた自己評価を記載してください。評価の基準は、評価対象となる方針・波及効果・事業・歴史的風致の性格に応じて、自由に設定してください。
- ・各様式の「今後の対応」欄では、中間評価の場合は、自己評価を計画期間後半にどのように反映させるか、最終評価の場合は、次期計画策定も含めた今後の対応について、記載してください。また、20年以上に渡る長期的な歴史まちづくりを見据えながら、計画期間後半や次期計画期間等において優先的に実施すべき内容を記載するように心がけてください。

2. 表紙の記入方法

(1) 基本事項

表紙は、最終（中間）評価のメインインデックスとなるページです。記載項目が一目で把握できるよう、内容を1ページにまとめてください。各シートの評価項目のタイトルを記載するとともに、各項目のページ番号を振ってください。

- 認定計画に基づき、認定都市名、認定年月日、計画期間を記載してください。

最終評価シート

最終評価（表紙）

●●市 歴史的風致維持向上計画（平成●●年●●月●●日認定）
最終評価（平成●●年度～●●年度） ●

■ 統括シート（様式1）	2
■ 方針別シート（様式2）	
I ●●●●●●●●の保全活用	●
II ●●●●●●●●の改善	●
III ●●●●●のネットワーク構築	●
IV ●●●●●●●●の価値づけ	●
■ 波及効果別シート（様式3）	
i ●●●●における●●●●の増加	●
ii ●●●●における●●●●●●の解消	●
iii ●●●●●●の●●●●向上	●
■ 代表的な事業の質シート（様式4）	
A ●●●●●●●●整備事業	●
B ●●●●●●●●に関する事業	●
■ 歴史的風致別シート（様式5）	
1 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
2 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
3 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
4 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
5 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
6 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
7 ●●●●●●に見る歴史的風致	●
■ 庁内体制シート（様式6）	●
■ 住民評価・協議会意見シート（様式7）	●
■ 全体の課題・対応シート（様式8）	●

- 様式2～5について、評価項目のタイトルを記載するとともに、各様式・項目のページ番号を右端に振ってください。
- ページ番号は、表紙が1ページ目となります。

3. 統括シート（様式1）の記入方法

最終評価（中間評価）では、①認定計画で設定した「**歴史的風致**」がどれだけ維持向上できたか、②認定計画で掲げた「**方針**」がどれだけ達成できたか、③認定計画を通じてどのような「**波及効果**」があったのか、④認定計画に位置づけられた「**代表的な事業**」の質がどれだけ担保できたか、主に4つの項目について評価を行います。

(1) 基本事項

様式2～5の評価対象となる4つの項目、①「歴史的風致」、②「歴史的風致の維持向上に関する方針」、③「歴史まちづくりの波及効果」、④「代表的な事業」、について、一覧で整理してください。

- 認定計画に記載されている歴史的風致の項目を記載してください。
- 歴史的風致毎に、対応して実施している「歴史的風致の維持向上に関する方針」の番号を記載してください。1つの歴史的風致に、複数の方針を記載しても構いません。

最終評価（統括シート） (様式1)

市町村名	●●市	評価対象年度	H20～H29年
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	●●●●●●●●●●に見る歴史的風致	I, II	
2	●●●●●●●●●●に見る歴史的風致	I, III	
3	●●●●●●●●●●に見る歴史的風致	III, IV	
4	●●●●●●●●●●に見る歴史的風致	IV	
5	●●●●●●●●●●に見る歴史的風致	V	
6		
7		
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
I	●●●●●●●●の保全活用		
II	●●●●●●●●の改善		
III	●●●●●●のネットワーク構築		
IV	●●●●●●●●の価値づけ		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	●●●●における●●●●の増加		
ii	●●●●における●●●●の解消		
iii	●●●●の●●●●向上		
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	●●●●●●●●整備事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
B	●●●●●●●●に関する事業	その他	

- 認定計画に記載された歴史的風致の維持向上に関する方針を記載してください。

- 認定計画に基づく取り組みを通じて発現した波及効果を記載してください。
- 認定計画に基づく取り組みがまち・地域にもたらす効果の内、「歴史的風致の維持向上に関する方針」として設定されたものは様式2で整理するため、他の施策・出来事との関係の中で生まれた間接的な効果や相乗効果を取り上げてください。(詳細は本作成ガイド p.11を参照)

- 認定計画に基づく代表的な取り組みの中から、外部有識者による事業の質の評価の対象となる事業を記載してください。
- 歴史的風致維持向上施設の整備・管理に関する事業か、その他の事業か、種別を記載してください。

5. 波及効果別シート（様式3）

認定計画は、歴史的風致の維持向上を主な目的とした計画ですが、認定計画に基づく施策を他の計画・制度等と上手く連動させることで、他方面におけるまち・地域の変化を誘発することや、歴史的風致の維持向上に相乗的な効果を得ることができます。そこで、このような波及効果について、施策間の相互補完の関係や施策間連携の推進体制等、効果発現に至るプロセスとその成果を振り返りながら、効果発現の達成状況を自己評価した上で、効果の継続・拡大に向けた他の計画・制度との連携方策等を検討してください。

(1) 基本事項

波及効果について、他の事業や計画との連携状況を整理した上で、効果発現のプロセスと成果を振り返り、達成状況を自己評価するとともに、今後の対応を記載してください。

- 認定計画の波及効果として、計画に関連するまち・地域の変化を、幅広い分野から取り上げてください。
- 認定計画に基づく取り組みがまち・地域にもたらす効果の内、「歴史的風致の維持向上に関する方針」として設定されたものは様式2で整理し、本様式では他の施策・出来事との関係の中で生まれた間接的な効果や相乗効果を取り上げてください。

- 効果の発現に寄与している他の計画・制度があれば、表の中に記載してください。
- 記載した他の計画・制度と認定計画の間に、連携の位置づけがなされているか、記載してください。
- 認定計画、もしくは関連する他の計画・制度に位置づけられた事業・施策で、波及効果の発現に寄与した取り組み、および波及効果と関連するその他の出来事等について、概要を表の下に記載してください。

最終評価（波及効果別シート） (様式3)

市町村名	●●市	評価対象年度	H20～H29年
効果	i ●●●における●●●の増加		
① 効果の概要 計画の実施を通じて発現した効果の内容を指標等を用いて端的に表現			
② 関連する取り組み・計画			
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	中心市街地活性化基本計画	あり	H24～32
2	都市再生整備計画	あり	H25～27
3	地域商店街活性化事業・地域にぎわい補助金	なし	H23～26
③ 効果発現の経緯と成果			
● 上記成果・プロセスに基づいて、各波及効果の発現状況について、 自己評価 を行ってください。			
● 評価基準は、波及効果の内容や性格に応じて、自由に設定してください。			
④ 自己評価			
●●●開催時の様子			
⑤ 今後の対応			

- 関連する取り組み・計画について、施策間の相互補完の関係や、施策間連携の推進体制等、効果発現にいたるプロセスを説明してください。
- 定量的な把握が可能な効果については、図表等を用いて分かりやすく**成果**を表現してください。
- 定量的データがない場合や効果の表現が難しい場合などは、写真や報道内容等を用いて効果発現の状況を分かりやすく表現してください。

- 発現した効果を、今後も継続・向上させる、または広範囲に広げるための施策の展開や体制づくりなどについて、方向性を記載してください。

<評価の流れ>

- ① 外部評価をいただく有識者を選定し、有識者と相談の上、評価対象とする代表的な事業を選定してください。
- ② 当該事業の概要と取り組みの自己評価を記載してください。
- ③ 有識者から事業の質に関する評価コメントを受領してください。
- ④ 自己評価・有識者のコメントを踏まえて、今後の対応方針を記載してください。
- ⑤ ①～④の結果について、法定協議会に諮り、確認いただいた上、意見を反映してください。

<代表的な事業の質の評価フロー>



<有識者の選定>

- 評価をいただく有識者の選定は、各分野への専門性や地域への精通度を考慮の上行ってください。専門分野に応じて、複数名選定しても構いません。
- 外部有識者は各分野の専門性や地域に対する精通度を考慮の上、選定されるものですが、外部評価としての客観性を確保するためにも、可能な限り法定協議会に参加していない学識経験者の選定が望ましいと考えられます。(例えば、市町村の文化財保護審議会委員や景観審議会委員等)ただし、法定協議会に参加している学識経験者の選定を妨げるものではありません。

7. 歴史的風致別シート（様式5）の記入方法

認定都市は認定計画の内容に従って各種取り組みを進めるため、歴史的風致の設定から課題の抽出、方針の設定、施策の立案、事業の実施に至る内容の整合性が取れていることが、円滑で効果的な歴史まちづくりの展開を大きく左右することになります。そこで、**認定計画に記載された各歴史的風致について、状態の変化とその背景・理由を振り返りながら、維持向上の達成状況を自己評価した上で、今後取り組むべき施策内容や歴史まちづくりの方針等を検討**してください。

(1) 基本事項

認定計画の方針に基づく成果や、波及効果、さらには代表的な事業の実施状況を踏まえ、各歴史的風致が、計画期間を通じてどのように変化したかを説明するとともに、維持向上に向けた取り組みの成果を自己評価してください。

- 各歴史的風致について、認定計画の記載内容に基づきながら、構成要素等の概要を記載してください。

- 評価対象期間全体を通じた各歴史的風致の変化について、次の3段階で**自己評価**して下さい。
【維持】歴史的風致が維持された場合
【向上】歴史的風致が向上した場合
【要改善】歴史的風致の状態が悪化した場合

- 対応する歴史的風致の維持向上に関わる方針を記載してください。

- 各歴史的風致が、評価対象期間全体を通じてどのように変化したのか、具体的な**状態の変化**とその**背景・理由**について記載してください。
- 歴史的風致を構成する各要素の変化を列挙するのではなく、各構成要素の関係性を意識しながら、歴史的風致が総体としてどのように変化したのかを説明するように心がけてください。
- 維持向上の背景となる施策があれば、その**成果**を記載してください。
- 認定計画に位置付けられた事業・施策がない歴史的風致についても、維持向上できた、あるいはできなかった背景・理由を説明してください。

- 維持向上の達成状況について**自己評価**を行ってください。
- 様式2~4の内容も踏まえながら、維持/向上/要改善と判断した理由や課題等を説明してください。

- 方針の設定は適切だったか、方針に従って適切な手段がとられたか、再確認した上で、今後の対応について、各歴史的風致を維持向上するための施策の新規立案・継続・見直し・廃止や、歴史まちづくりの方針などを記載してください。
- 歴史的風致の構成について変更を検討している場合は、その内容を記載してください。

最終評価（歴史的風致別シート） (様式5)

市町村名	●●市	評価対象年度	H20~H29年
歴史的風致	1 ●●●●●●●●●●に見る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I ●●●●●●●●の保全活用 II ●●●●●●●●の改善		
① 歴史的風致の概要			
.....			
② 維持向上の経緯と成果			
.....			
		写真	
		↓	H20.6
		写真	
		●の様子	H28.6
		図表	
		●●の件数の推移	
③ 自己評価			
.....			
④ 今後の対応			
.....			

中間評価スケジュール(案)

資料2-3

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	4月	7月
外部評価		候補者依頼	代表的事業決定	実地検査	評価内容協議 評価書受領					
住民評価				重点地区 意見聴取	結果取り まとめ					
歴まち協議会	評価方法 説明							意見聴取 協議		
評価書						原案完成 国へ提出	国と調整		確定版提出	HP掲載